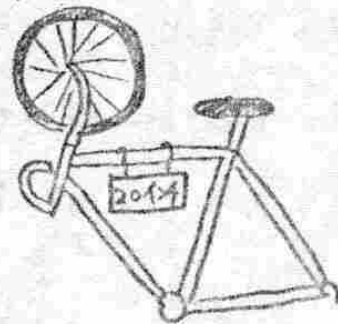
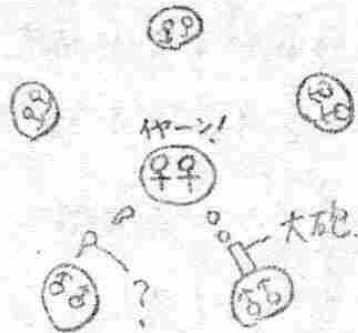


予備予備フリーラン 1年 小川武史

前日に初めて輪行して、初めてのサイクリングにやや希待して部室に集合した。いよいよ旅の始まりである。……が……輪行した自転車とはなんと重いのだろう。部室から大岡山駅までに何度も休みながら行った。古木さんがチャリンコをヒョイッ！と持、てスタスタと行、てしまうのを見て、「スゴイ力持ちた！怪物ジャー！タタリジャー！」と思、た。中央線、富士急行線を通、て富士吉田に着いた。修学旅行で行、た富士急ハイランドのジェットコースターなどが見えて、なつかしいなーと思、いながら駅前広場で自転車の組み立てが始ま、た。回りに興味あり気なハナタレのガキが集ま、て来た。……これが悪夢の始まりである事など知る由もなかつ、た。……無心で前輪をとり付けた。ヘッド小物の順番を慎重に確かめてから、ハンドルを付けようとしたが……ハテ……ハンドルのあるべき所に車輪がドーンとあるではないか。ガキ達が、「この自転車おかしいな！」と言、て向、こうへ行、た。そして皆人が次々と来てバカにして行、た。クリーゼ、かく組んだのに……！この時、この失敗について先輩である名取さんは、感無量であ、たのではないだろうか。とにかく、奥に、マコト＝はずかしく、悔しいてき事であ、た。

程なく我が班は山中湖へ向、て走り始めた。山中湖では、昼食をとり、その後ボートに乗、た。ペダルをクルクル回して進んで

行くボートであつたので全く疲れた。ところでこの時女にイタズラをしてみました。いや誤解してはいけません。下図の様には女の子もとり囲んで、困るのを楽しんでいただけです。



か
び
ん
!!

疲れ切つて走り始めた。次におおまきは、初の登り坂ノ皆んながインナーにギヤチェンジしようとした。しかし、ギヤチェンジのまずまず調整不良のため一年生の半分以上はインナーに落ちせないうまま置つた。中でも鈴木銀ピカチャリンコは、イモ・シマ) 600では、どうしてもインナーに落ちず、この後ドックインとなつてしまつたのである。峠からトンネルをぬり少し下ると今度は山の中のアップダウン! 「高知がなつかしい!」中でも、未舗装の下りには参つた。穴の間を必死でくぐつた。危がたくたうしい。視界が開け舗装の下りになつた時二度目の悪夢が起つてしまつた。古木センがトップでカーブに突入! 鈴木が俺の前でブレーキング! (その時心の中で俺自心がサーキットの狼になつていた。) 俺は一瞬ブレーキングをがまんしてカーブ直前で鈴木をぬつた。次の瞬間サーキットの狼は、サーキットの犬になつた。犬は犬でも負け犬だ。スゴイカーブであつたのだ。あわててブレーキ!!!

しかし、チャリンコは、外へ外へ！…ダメだ！と思った時左側の未舗装が見えた。しかたなく、そこへ飛び出しタイヤを横スベリにロックさせて転倒はまぬがれた。下りのカーブの恐ろしさを味わった。この事は、ツーリング記録本「小川はみ出し」と書かれてしま、た。

ナンナカンノと言いなながら橋本に着いて再び輪行した。近くにあって「鈴木レコード店」が「センチメンタル・カーニバル」を何十回もかけ続けた。どうせならアグネス・チャンの曲にしてほしかった。このため以後輪行のため「センチメンタル・カーニバル」が月でガンガンなっている。ビールで乾杯して、無事フリーランを終えた。色々トラブルが多が、たけど、いろいろとめ人どう見てくれた先輩オに感謝しています。

